

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	訓練(ロープブリッジ救出)のためのロープを展張作業中に起きた支点のワイヤロープ(径6.4mm)破断事例。
3. 体験した事例の中心的要素	従来使用していた支点部分(展張側の反対)に錆等による不安が出てきたため、直径約15センチの鉄管パイプにワイヤロープ(径6.4mm 長さ90cm)を1周巻きつけ、ブリッジ線を展張計を確認しながら展張作業を行っていた。 展張計が500kgを示した時にバンという音と共に支点のワイヤロープのロック加工部分が破断したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	使用したワイヤロープ(径6.4mm)の切断荷重は約2トンであるが、アルミによるロック加工部分が劣化等により破断したものの。(展張する前に渡過ロープと支点のワイヤロープのキンクやキズの点検をしたが異常はなかった。)

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年4月10日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：訓練塔
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突
7. 事例体験時の活動	その他:現場活動中期、[][]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他：作業(訓練前のロープ展張時)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[53]歳、勤続年数[35]年、現場経験年数[35] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[45]歳、勤続年数[26]年、現場経験年数[26] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者C	年齢[37]歳、勤続年数[18]年、現場経験年数[18] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [数年に1度程度]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	他隊員3名

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者C	点検を実施し、隊員に展張開始を指示	
経過2	その他	展張の指示を受けて開始する	
経過3	その他	展張計が500kgを指した時にバンと音がする	
経過4	当事者ABC	バンという、音と共に支点のワイヤロープのロック加工部分が破断するのを確認	
経過5	当事者ABC	渡過ロープがアンカーロープにて確保されているのを確認	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険事象の対応方法を知っていた。 その他：アンカーロープを二重でとっていた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--

ヒヤリハット事例(ワイヤロープを支点としたロープ展張時の破断事例)



